

SHIMA-KEN-BULLETIN

島建会報

発行：(社)島根県建設業協会

松江市西嫁島1丁目3番17-101号 TEL 0852(21)9004 FAX 0852(31)2166

制作協力：建設興業タイムス社

② 新会長に中筋豊通氏
通常代議員会

④ 新部会長に原諭氏
青年部会 通常総会

⑤ 長岡会長を再任
土木施工管理技士会 通常代議員会

⑥ 県と防疫業務の協定締結
家畜伝染病処理に協力

⑥ 設計図書精査と事前調整
積算委と県が意見交換

⑦ 建産連 通常総会

⑧ 活動だより

松江青年部会 - 所内技術講習会 (トレアソ)

邑智支部 - リスクアセス研修会

浜田支部 - 労働災害防止大会
- 現場技術者研修会

建災防松江 - 安全研修会

建災防安来 - 現場代理人研修会

建災防出雲 - 現場代理人研修会

⑪ 受験準備講習会案内

2級土木施工管理技術検定

建設業経理士検定 (2級)

⑬ 雇用改善だより

「仕事のエネルギーは明るい職場から」

⑭ 雇用管理研修案内



2010

春



新会長に中筋豊通氏

「皆さんと共に頑張る」決意表明

平成22年度 通常代議員会

5月25日、建設業会館で通常代議員会が開かれ、70人が出席。任期満了に伴う役員改選で、新会長に中筋豊通副会長（出雲支部長）を選任した。

渡部義三会長は4年間の任期を感慨深く振り返りながらお礼のあいさつをし、新会長に、協会の体質強化と会員企業の経営改善を託した。これを受け中筋会長は「渡部会長の言葉を胸に刻み、各支部の意見に耳を傾け、皆さんと共に頑張ることを約束します」と決意を述べた。中筋氏は61歳、副会長を5期10年務めた。

議事では09年度収支決算や10年度事業計画など承認。重点項目として、社会資本整備の計画的な推進▷建設業の健全な発展▷社会貢献活動とイメージアップ活動▷雇用対策と労働災害防



止対策▷公益法人改革一を掲げ、諸課題の解決に積極的に取り組むことを決めた。

また、建災防県支部の代議員会も開かれ、安全衛生管理体制の確立と、リスクマネジメント

や建設業労働安全衛生マネジメントシステム（COHSMS）の普及、これらを取り入れた安全衛生教育の確実な実施一などを本年度の重点対策として盛り込んだ。

新 役 員

▷会 長

中筋 豊通（出雲支部長）

▷副 会 長

渡辺 栄三（隠岐支部長）

金津 任紀（松江支部長）

中垣 健（浜田支部長）

波多野 諭（大田支部長・新）

福間 久八（仁多支部長・新）

▷専務理事

門脇 廣

▷理 事

渡部 義三（安来支部長）

野村喜代志（益田支部長）

平井 幸範（安来支部）

今岡余一良（出雲支部）

浜 慎一（邑智支部・新）

田仲 寿夫（隠岐支部）

植田 耕志（雲南支部長・新）

神庭 民生（松江支部）

周藤 茂雄（雲南支部・新）

長岡 秀治（出雲支部）

河野 博（浜田支部）

福井 竜夫（邑智支部長・新）

古藤 年雄（松江支部）

中村 勝好（仁多支部）

堀 博彦（大田支部）

宮地 正浩（益田支部）

▷監 事

中田 孝幸（安来支部・新）

言根 雅弘（西日本建設業保証）

都間 正隆（雲南支部・新）

日高 峻宏（邑智支部・新）



波多野 諭氏



福間 久八氏

22年度 全建表彰受賞者

〔特別功労者〕【第2条】

荒木 重利（荒木建設・雲南支部）

佐藤 慎一（佐藤工務所・仁多支部）

田中 博（田中建設・大田支部）

〔地方協会の役員〕【第4条】

金見工務店（松江支部） 渡部 建設（安来支部）

周藤 土木（雲南支部） 勝山 建設（仁多支部）

山口 建設（出雲支部） 神崎 建設（邑智支部）

岡田 建設（浜田支部）

〔地方協会会員の従業員〕【第5条】

坂根 成作（佐々木建設・松江支部）

原田 亨（足立建設・安来支部）

若槻 繁雄（都間土建・雲南支部）

森山 一男（中村工務所・仁多支部）

小村 孝男（大福工業・出雲支部）

勝部 哲治（堀工務店・大田支部）

小原 優（町田土建・邑智支部）

永見 幸博（栗栖組・浜田支部）



新部会長に原諭氏

新部会長としての抱負を語る原部会長（中央）と山口（右）、
金津両副部会長



平成22年度 青年部会通常総会

青年部会は6月3日、松江市内で通常総会を開き48人が出席。任期満了に伴う役員改選で、原諭部会長（原工務所・浜田支部）はじめ新役員を選任した。

10年度事業計画では、青年組織らしい、将来

を見据えた活動に積極的に取り組み、建設企業の必要性を社会に理解してもらうことを基本方針として、研修・勉強会、社会貢献、イメージアップ等に取り組むことを確認した。

新役員

▷部会長

原 諭（原工務所・浜田支部）

▷副部会長

山口 弥（山口建設・出雲支部）

金津 秀宜（カナツ技建工業・松江支部）

▷運営専務

井上 信治（井上組・浜田支部）

▷幹事長

柁野 直宏（トガノ建設・出雲支部）

▷幹事

藤原 資之（藤原鐵工所・松江支部）

深田 靖（松江土建・松江支部）

木村 直樹（豊洋・松江支部）

米原 建（米原組・安来支部）

周藤 浩二（周藤土木・雲南支部）

畑 康昭（畑建設・仁多支部）

三原 昇（やたま建設・出雲支部）

荒木 克之（昭和開発工業・出雲支部）

波多野 圭（はたの産業・大田支部）

山口 龍（江ノ川開発・邑智支部）

毛利 栄就（毛利組・浜田支部）

宮田 智裕（宮田建設工業・浜田支部）

伊原 憲吾（伊原組・浜田支部）

高橋 宏聡（高橋建設・益田支部）

竹田 栄人（竹田組・隠岐支部）

▷監事

田本 充（田本建設・雲南支部）

和田 浩二（和田組・邑智支部）

長岡会長を再任

平成22年度 土木施工管理技士会 通常代議員会

土木施工管理技士会は5月20日、通常代議員会を開き、75人が出席。役員改選で長岡秀治会長（出雲支部）の再任はじめ、新役員を選出した。事業計画では、土木施工管理技士の技術力アップのための研修・講習会の実施、CPDS（継続学習）の推進、技術者の社会的認識の向上など重点に取り組む。

通常代議員会で挨拶する長岡秀治会長



新 役 員

▷副 会 長

中田 孝幸（安来支部） 原 諭（浜田支部） 堀江 洋一（松江支部・新）
日高 峻宏（邑智支部・新）

▷専務理事 門脇 廣（建協）

▷理 事

吉岡 直樹（松江支部・新） 永島 隆哉（安来支部） 日野 敏夫（雲南支部）
香川 昇司（雲南支部・新）
福間 久八（仁多支部） 中村 勝好（仁多支部） 新井 清水（出雲支部）
堀 博彦（大田支部・新） 稗田伊佐央（大田支部・新） 小畑 亮二（邑智支部・新）
阿郷 一日（浜田支部・新） 野村喜代志（益田支部） 椋 九一（益田支部）
堀 邦至（鹿足支部） 三浦 浩（鹿足支部） 渡辺 栄三（隠岐支部）
稲葉 良一（隠岐支部）

▷監 事

中筋 廣昭（松江支部） 今井 久晴（浜田支部・新）

全国土木施工管理技士会連合会表彰事業 表彰者

渡部國雄（八神トラスト） 福間久八（福間工務店） 小田原茂樹（中島建設）
加本雅美（フクダ） 菅谷文成（竹田組） 松浦孝吉（松江支部） 森田浩文（浜田支部）

島根県土木施工管理技士会会長表彰 受賞者

規程第3条関係

木村学（一畑工業） 曾田茂（コムラ） 鳥屋原一朗（スヤマ産業） 恩田博之（川角工務店）
後藤和博（ヒロシ） 山崎保夫（黒徳建設） 宮岡龍輔（邑東建設） 佐々田誠志（岡田工務店）
岡本隆之介（毛利組）

県と防疫業務の 協定締結

家畜伝染病処理に協力

高病原性鳥インフルエンザなどの家畜伝染病の発生に備え、島根県と建設業協会が防疫業務協定を締結、3月31日県庁で調印式が行われた。

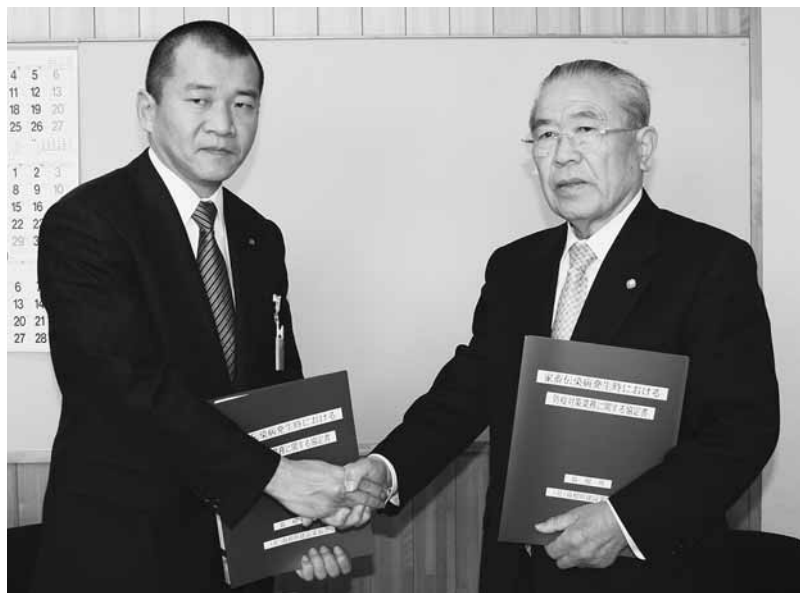
協定は、殺処分を必要とする緊急性の高い家畜伝染病が発生した場合、死骸や排泄物を袋詰めしたフレコンバックを埋設する埋却溝の掘削や防水シートの被覆、運搬・搬入等埋設作業に建設業者が協力するもので、都道府県と建設業協会の防疫業務協定は全国でも初めての取り組みとなる。

この日、石垣英司農林水産部長と渡部義三会長が協定書に調印。渡部会長は「協定の趣旨を十分把握し、迅速な対応で県民の安全を

守りたい」と決意を語った。

埋設地は鶏舎・畜舎の周辺に県が確保。殺処分や鶏舎・畜舎の清掃・消毒、袋詰め等は防疫作業員が行う。今後、各県土整備事務所と管内の協会各支部との間でも同様の協定が結ばれ、全県下の業務体制が整う。

家畜伝染病の中でも特に発症率の高い、高病原性鳥インフルエンザの流行は、昨年にはなかったが、県内には1000羽以上を飼育する養鶏場が32カ所あり、県では随時モニタリングを実施している。



防疫業務協定の調印を終え、握手を交わす石垣英司農林水産部長（左）と渡部義三会長＝県庁

設計図書精査と 事前調整

積算委と県 意見交換

建設業協会の土木、建築両積算専門委員会は3月中旬、設計、積算、施工管理等に関する課題や要望について県と意見交換した。

土木関係は▷発注に向けた事前調整や現場条件に合致した調査設計▷労務単価、仮設足場の歩掛り▷工事成績評定▷提出書類の簡素化▷総合評価一など30項目、建築関係は▷設計変更の迅速化▷参考数量と実施数量、改正足場の仮設費▷工事成績評定一など11項目の要望事項に沿って、県側の見解や対応を聞いた。

この中で県は、コンサルタントの成果品の精査と設計変更時の適切な対応に努めるとともに、ワンデーレスポンスを10年度から全工事で実施。やむを得ず条件が整う前に発注する場合は「施工条件書」等に明示し、疑問点は質問書で確認

するよう要請した。建築工事でも、設計図書や積算の精査と、設計変更時の迅速な対応に努めると回答した。

工事成績評価については4月から品質に関する監督員の評価方法を改正するとともに、評価対象項目が少ない維持修繕工事については項目数を増やし、きめ細やかな評価ができるよう改善すると回答。工事書類の簡素化についても、10年度からの全面実施に向け職員への周知徹底

を図る。

総合評価の技術提案では標準型の技術提案については、従来よりも評価内容を明確にした採否結果通知書を送付。簡易型の施工上の留意点についても、落札者が契約書に履行する提案内容の評価を明確にする考えを示した。また建築関係では、建築物の維持、解体等評価の困難な工事を除き、新営以外の改修・修繕工事でも同工種の評定点を適用するとした。

建産連 通常総会

建設産業団体連合会（中筋豊通会長）は6月4日、通常総会を開き、会員団体の代表ら14人が出席。09年度決算や10年度の事業計画など

承認した。

中筋会長はあいさつの中で「公共事業削減の厳しい状況が続くが、各協会でも多くの事業に取り組み、力を合わせ乗り切ろう」とあいさつ。

建設産業構造改善の推進を重点項目に、諸会

議・関連機関との協力や講習会の参加・開催に向けた活動に積極的に取り組む方針を決めた。



2010

ビジネスをサポートするこの1冊。

2010 SHIMANE

建設関係
職員録

県内官公庁の公共事業部署名簿

県内官公庁の公共事業部署名簿

建設興業タイムス社

県内官公庁の公共事業部署名簿

定価
4,800円
(税別)

お申し込みは **TEL-Web** から!!

ご注文 ☎ 0852[21]9047
www.kougyo-times.co.jp/

編集・発行 建設興業タイムス社
TEL 0852-21-9047 FAX 0852-21-9049 E-mail kensetsu@kougyo-times.co.jp
松江市学園南2丁目10番14号

活動だより



松江支部青年部会

所内技術講習会（トレアソ） 地域貢献活動について初発表

松江県土整備事務所は1月29日、第2回所内技術講習会（通称・トレアソ）を開催。同事務所や松江支部青年部会の関係者ら約40人が参加した。

トレアソは「トレーニング」や「遊び」を組

み合わせた造語で、気楽に練習する感覚で、プレゼン力や知識を高めていこうという意味。本年度のトレアソで、今回初めて建協松江支部青年部会も発表者として参加した。

同支部木村直樹青年部会長が「地域とのふれあい活動について」をテーマに08・09年度の地域貢献活動について発表。鑿（どう）行列やホーランエンヤ等でのイベント後の清掃ボランティアを行ったことや、協会の発展と地域貢献のため地元住民と一緒にした事業が必要と考え、松江第五大橋の写生大会を実施したことも話した。

また、所内トレアソでは、松江県土の職員6人が発表者となり、惣津地区地すべり災害▷プリスタリング対策▷浜乃木湯町線湯町工区事業概要▷柿原池改修工事における低樋施工事例一などについて説明。このほか、県の技術管理課担当者が積算の基本や留意事項についても指導した。



邑智支部

リスクアセス研修

邑智支部は1月26日、リスクアセスメント研修会を開催。会員各社の安全管理担当者ら約40人が参加した。

浜田労基署の元行展久第1課長らを講師に、リスクアセスメントの概要や実施手順から実践までを研修。初めに、担当者からリスクアセスメントの必要性や考え方、KY活動との相違点

などの説明を聞いた後、「リスクアセスメントすすめ方」と題した啓発DVDを鑑賞。グループごとに配布資料の例題（クレーン作業など）



を参考に①リスクの見積もり（重篤度、発生可能性の度合、優先度等の割り出し）②リスクの

低減措置（措置や対策等の検討および実施）③危険性有害性の特定等一について実践した。

浜田支部

安全衛生意識高揚を

浜田支部は2月3日、建設業労働災害防止大会を開催。寺内宏伸浜田労基署長、黒目正博浜田県土整備事務所長ら来賓と関係者約100人が参加した。

中垣支部長が「経営トップが労働災害防止策に積極的に取り組み、社員が安心して働ける職場づくりに努めよう」とあいさつ。寺内署長が「リスクアセスメントの意義について」と題して講演し、作業ごとに災害発生の可能性の事前審査、確認、改善をサイクル化し、安全意識を共有化することが必要だと呼び掛けた。



最後に、河野博副支部長が「安全意識の高揚を図り、健康で安心して働ける職場環境づくりに一丸となって取り組もう」と安全への誓いを読み上げ、参加者全員が労働災害の撲滅を誓った。

また、特別研修では元行展久浜田労基署第一課長、セコム山陰の勝部賢三氏らの講演もあった。

創意工夫で総合評価対策を

浜田支部は6月2日、浜田建設会館で「現場技術者研修会」を開き、会員各社の技術者ら約100人が参加した。

浜田県土整備事務所の勝田榮技術専門監が「工事成績評定要領」について、4月からの改正点や工事成績での点数アップにつながるポイントなど説明。「要領改正に伴う配点の変化など工事成績評定の仕組みを理解し、自社の弱点を工夫と新技術等で克服することが大切」と話した。

また、北海道で建設業者へのサポート事業を展開する建設IT職人組合「KREIS」の佐々木実代表が「総合評価方式」について、技術提案の仕方や他社に差をつける創意工夫のポイントなど事例を交えて解説。佐々木氏は「総合評

価方式で勝ち残るには①社会に還元する力（イメージアップ）②問題を見つけ出して解決できる能力（創意工夫）が必要で、技術と経営に優れた会社になること」とアドバイスした。



建災防松江

非定常時の対処学ぶ

建災防松江分会は3月10日、安全研修会を開き、会員企業の現場代理人ら100人が参加した。

研修会では、松江労基署の白名弘次長が、参加者全員に2次下請けの職人の立場で、自分の現場や他の作業現場で危険箇所を発見した場合の措置など簡単なアンケートに答えてもらい、回答を基に非定常時の作業における対処方法を指導。危険要因を見つけた場合、「まず作業を中止することで災害を回避、元方と協議し新た

な作業マニュアルを構築、これに基づき作業を行う。この考え方を作業員レベルまで浸透させることが重要」と説明した。

このほか、斜面崩壊や重機による事故の防止技術、安全対策用の機材についても学んだ。



建災防安来

現場代理人研修に35人

建災防安来分会は2月15日、現場代理人研修会を開き、会員各社の現場代理人ら35人が参加した。

県技術管理課の担当者が、08年度の労働災害発生状況や事例を挙げ、今後の安全対策を指導。また、総合評価方式の入札公告から落札者決定までの流れ、施工計画書の書き方の留意点につ

いて説明した。

このほか、河川工事における残土処理の注意すべきポイントや、ハートフルしまねの交付金による助成制度についての話もあった。



建災防出雲

70人で現場代理人研修

建災防出雲分会は1月25日、現場代理人研修会を開き、関係者約70人が参加した。

出雲労基署の内久保康孝第2課長が「災害から学ぶ法令順守と現場管理」と題し講演。昨年に発生した労災事例を取り上げ、墜落事故では作業所、手摺り設置など優先順位の高い対策か

ら取り組むよう指導。現場の大小にかかわらず、決められたルールで全員が同じ対策を講じるよう要請した。



◆2級土木施工管理技術検定試験 受験準備講習会

主催 社団法人島根県建設業協会 島根県土木施工管理技士会
後援 財団法人地域開発研究所 土木施工管理技術研究会

平成22年度の2級土木施工管理技術検定試験につきましては、平成22年10月24日(日)に松江市を含む19都市で実施されます。この試験の受験準備講習会を下記により開催いたします。

開催日 平成22年8月31日(火)～9月2日(木) 計3日間

場所 島根県建設業会館 6Fホール (松江市西嫁島1-3-17)

教科内容及び講習時間 (合計 19時間30分)

8/31(火)	9:15～9:30 ガイダンス	9:30～12:45 土工・建設機械	12:45～13:45 昼休み	13:45～16:30 品質管理
9/1(水)	9:00～12:30 コンクリート・基礎工		12:30～13:30 昼休み	13:30～16:45 法規Ⅰ
9/2(木)	9:00～10:00 施工経験記述指導	10:00～12:30 施工計画・建設副産物等・工程管理	12:30～13:30 昼休み	13:30～16:45 安全管理・法規Ⅱ

受講料 (社) 島根県建設業協会会員 34,650円(税込) 非会員 45,150円(税込)

テキスト代

①土木施工管理技術テキスト

◆土木一般編【改訂第10版】	2,940円	合計 11,340円(税込)
◆施工管理編【改訂第11版】	2,730円	
◆法規編【改訂第12版】	2,520円	

②2級試験問題解説集録版【2010年版】 3,150円

※①、②とも前年度使用のテキストから改訂されていますので、ご確認ください。
※このほかに、2級土木講習会用資料を講習会当日に配布いたします。

申込先 建設業協会各支部へ受講料・テキスト代を添えてお申し込み下さい。
※会員の方は所属支部へ、非会員の方は最寄りの支部又は本部へお申し込み下さい。

受付期間 8月6日(金)まで ※定員(100名)に満たない場合には、受付期間を過ぎても受け付けます。

7月末日までに申し込みされた方のテキストを8月中旬に申込先の支部にてお渡しいたします。講習会当日必ずご持参下さい。8月以降にお申し込みの方については、講習会当日にお渡ししますのでご了承願います。

備考 申込後の受講料の返却は、原則としていたしません。筆記用具等は各自ご持参下さい。

◆建設業経理士検定試験(2級) 受験準備講習会

主催 社団法人島根県建設業協会

平成22年度の建設業経理士検定試験(2級)に向けた受験準備講習会を下記により開催いたします。

開催日 平成22年7月13日(火)～14日(水) 9時～16時30分

場所 島根県建設業会館 6F研修室 (松江市西嫁島1-3-17)

受講料(テキスト資料等含む) (社) 島根県建設業協会会員 9,450円(税込) 非会員 13,650円(税込)

受付期間 6月30日(水)まで

備考 テキスト、資料は当日お渡しいたします。講習会当日は、筆記用具のほか電卓を持参してください。

申込先 建設業協会各支部または本部へ受講料を添えてお申し込みください。
※会員の方は所属支部へ、その他の方は当協会または最寄りの当協会支部へお申し込みください。

中小・中堅
建設業者の皆様へ

専門家による 情報提供・経営相談です

無料派遣

ワンストップサービスセンターのご案内



建設企業の方なら
どなたでもご利用
いただけます。

各都道府県等に設置する「建設業総合相談受付窓口」において経営相談を受け付けるとともに、ご希望に応じて、中小企業診断士等の経営支援アドバイザーを派遣します。

- 建設企業への助成金や支援制度を活用したい。
- 経営方針・経営戦略、資金調達などの相談をしたい。

建設企業の皆様は、以下の
ようなメニューをご用意
しております。

● 支援メニュー

1. 情報提供 経営に関するさまざまな情報を満載！

新分野に進出したい、支援制度を知りたい、経営のヒントを知りたい、など経営の役に立つさまざまな情報をホームページでまとめて紹介しています。

ヨイケンセツドットコム

<http://www.yoi-kensetsu.com/>

ヨイケンセツドットコム

検索

2. 無料経営相談 専門家による無料の経営相談サービス

- 中小企業診断士、税理士等の経験豊富なアドバイザーが、貴社を訪問しご相談を伺います。経営方針、資金調達などの課題から、新分野（成長分野）進出など、将来を見すえた問題まで、幅広く丁寧にアドバイスいたします。
- 2回まで無料でご利用いただけます。
(新分野（成長分野）進出に関する相談は、4回まで無料)
※ご相談内容の秘密は厳守いたします。

● ご相談はこちらへ 無料経営相談の申込は裏面をご利用下さい。

- (財)建設業振興基金 構造改善センター
TEL 03-5473-4572 / FAX 03-5473-4594
- 各都道府県等の相談窓口(全国90カ所)については
<http://www.yoi-kensetsu.com/one-stop/top/>
を御覧下さい。

雇用改善だより「仕事のエネルギーは明るい職場から」

建設業新分野教育訓練 助成金のご案内

建設業新分野教育訓練助成金は、建設労働者を継続して雇用しつつ、建設業以外の新分野事業に従事させるために必要な教育訓練を実施した中小建設事業主に対し支援を行う制度です。

支給要件

- 建設事業以外の事業（新分野事業）を新たに開始すること。
- 雇用する建設労働者を新分野事業に従事させるために必要な教育訓練（OFF-JTに限る。）に関する計画を作成し、計画に基づき、教育訓練を有給で行うこと。
- 教育訓練の対象者は、教育訓練の開始前1年間以上継続して雇用されている建設労働者（一般被保険者）であって、教育訓練の終了後、引き続き1年以上雇用されること。 など

支給額

- ①教育訓練に要した経費の2/3（1日当たり20万円、60日分を限度）
- ②教育訓練を受講させた労働者1人につき日額7,000円（上限。60日分を限度）
- ①及び②の合計額を支給します。

支給手続き

- 教育訓練を開始する日の2週間前までに、労働局等に訓練計画を届け出てください。
- 助成金の支給申請は、教育訓練が終了した日（賃金締切日が定められている場合は直後の賃金締切日）の翌日から1か月以内に行ってください。

お問い合わせは、お近くのハローワーク又は島根労働局職業安定部職業安定課まで

ハローワーク松江

〒690-0841 松江市向島町134番10 松江地方合同庁舎
TEL (0852) 22-8609 FAX (0852) 27-8524

ハローワーク隠岐の島

〒685-0016 隠岐郡隠岐の島町城北町55 隠岐の島地方合同庁舎
TEL (08512) 2-0161 FAX (08512) 2-8609

ハローワーク安来

〒692-0011 安来市安来町903-1
TEL (0854) 22-2545 FAX (0854) 22-4123

ハローワーク浜田

〒697-0027 浜田市殿町21-6
TEL (0855) 22-8609 FAX (0855) 22-2932

ハローワーク出雲

〒693-0023 出雲市塩冶有原町1-59
TEL (0853) 21-8609 FAX (0853) 21-0351

ハローワーク益田

〒698-0027 益田市あけぼの東町4-6 益田地方合同庁舎
TEL (0856) 22-8609 FAX (0856) 23-2622

ハローワーク雲南

〒699-1311 雲南市木次町里方514-2
TEL (0854) 42-0751 FAX (0854) 42-0752

ハローワーク石見大田

〒694-0064 大田市大田町大田口1182-1
TEL (0854) 82-8609 FAX (0854) 82-1059

ハローワーク川本

〒696-0001 邑智郡川本町川本301-2
TEL (0855) 72-0385 FAX (0855) 72-0386

島根労働局職業安定部職業安定課

TEL (0852) 20-7016

平成22年度雇用管理

建設雇用改善法によって、建設事業主は、建設事業を行う事業場ごとに雇用管理責任者を選任し、建設労働者の雇用管理をさせなければなりません。また、雇用管理責任者について、『必要な研修を受けさせる等、雇用管理を行うための知識の習得および向上を図るように努めなければならない』と規定されています。

雇用管理責任者の方等を対象とした直営の雇用管理研修（受講料無料）を、下記のとおり開催いたします。受講を希望される方は、開催1週間前までにFAX等でお申し込みください。

第1回 雇用管理研修（出雲）

平成22年6月29日（火） 9：30～17：00

出雲建設会館（出雲市塩冶善行町2-2 TEL 0853-21-1187）

時 間	内 容	講 師
9：30～9：40	開講（雇用・能力開発機構島根センター業務課）	
9：40～11：40	雇用契約・就業規則 ～雇入通知書作成の実務上の留意点～ 雇入通知書に記載されている各項目の法律上の根拠や実務上の留意点を通し、採用から退職まで必要な労務管理の基礎を研修します。	大塚真理子事務所 行政書士・社会保険労務士 大塚 真理子 氏
11：40～12：40	昼休憩	
12：40～14：10	募集・採用・配置 ～これからの人材確保の方法について～ 少子高齢化により今後の労働力人口の著しい減少が懸念される島根県において、現在景気低迷の状況ではあるが、継続的な企業運営には人材の確保は不可欠です。そのため、募集、採用等の課題と対策について研修します。	島根大学 キャリアセンター教授 原田 智明 氏
14：10～14：20	休憩	
14：20～16：20	労働時間管理 ～労働時間・休日・休暇に関する法律知識と実務対応～ 近年、時間外賃金の未払い問題が大きな社会問題となり始め、労働時間管理に対しての企業の対応は経営面で重要な課題となってきています。今回は、労働時間・休日・休暇及び賃金に焦点を絞り、これからの労務管理の実務対応について研修します。	田平労務管理事務所 次長 社会保険労務士 田平 篤 氏
16：20～16：25	休憩	
16：25～16：55	雇用管理総論 建設雇用改善助成金の改正と活用について	雇用・能力開発機構島根センター
16：55～17：00	閉講（雇用・能力開発機構島根センター業務課）	

平成22年度雇用管理研修の実施計画



第3回	平成22年10月	雲南市	(社)島根県建設業協会雲南支部の協力を得て開催する予定です。
第4回	平成22年12月	浜田市	(社)島根県建設業協会浜田支部の協力を得て開催する予定です。

研修開催のご案内

【問合せ先】 (独) 雇用・能力開発機構 島根センター業務課

TEL 0852-31-2302、FAX 0852-31-2164

第2回 雇用管理研修 (松江)

平成22年8月24日 (火) 9:30~17:00

ホテル宍道湖〔相生の間〕(松江市西嫁島2-10-16 TEL 0852-25-1155)

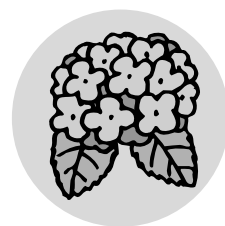
時間	内容	講師
9:30 ~ 9:40	閉講 (雇用・能力開発機構島根センター業務課)	
9:40 ~ 10:10	雇用管理総論 建設雇用改善助成金制度の改正と活用について	雇用・能力開発機構島根センター
10:10 ~ 11:40	雇用管理総論 ～知っておきたい裁判員制度～ 昨年開始された裁判員制度の仕組みや実施状況などについて、松江地方裁判所から講師を招いて研修します。	松江地方裁判所 裁判員調整官 森川 竹夫 氏
11:40 ~ 12:40	昼休憩	
12:40 ~ 14:40	賃金管理 ～賃金についての基礎知識と実務対応～ 厳しい経営環境の中、企業業績を維持・向上するためには、人材の確保・定着、意欲と働きがいのある賃金体系の整備・改善が必要です。又、最近、残業手当未払い等のトラブルも増加傾向にあることから、今回は、賃金体系の見直しや整備について研修します。	田平労務管理事務所 次長 社会保険労務士 田平 篤 氏
14:40 ~ 14:50	休憩	
14:50 ~ 16:50	教育訓練 ～コミュニケーション風土の再構築～ 建設業界における若手の早期育成や定着化のため、一人ひとりが自ら考え行動できる人材を育むコミュニケーション風土を再構築するために必要なコミュニケーションの基本とスキルをワークを交えながら研修します。	オフィス ビーぷらす代表 人材育成ファシリテータ 岩成 洋子 氏
16:50 ~ 17:00	閉講 (雇用・能力開発機構島根センター業務課)	

※左記実施計画は、現時点での予定ですので、時期や場所は変更となることがあります。

※開催日、開催場所及び実施内容等が、決定したコースからホームページに随時掲載いたします。概ね開催予定月の1ヶ月前を目途にしています。

※当該研修は、建設事業主雇用改善推進助成金（機構が実施する雇用管理研修の受講）の対象コースとなっております。受講の前に、受給資格の認定を受けた中小建設事業主の方で、所定労働時間内の受講で、通常の賃金日額以上の賃金を支払われた場合に支給請求ができます。

※受講料は、無料です。



- 建設業界による自主的な共済制度で掛金が安い。
- 元請下請問わず無記名で補償。
- 元請下請それぞれの契約者へ重複支払い。
- 企業の諸費用部分も補償。
- 事業主(契約者)への速やかな支払い。
- 経営事項審査において15点の加点。

ココロをつなぐ

建設共済

法定外労災補償制度

安心支える、
大きな力。



財団法人 建設業福祉共済団

(厚生労働省・国土交通省共管)

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-22-15 虎ノ門NSビル

■ 取扱機関：(社)島根県建設業協会

〒690-0048 松江市西嫁島1-3-17-101

TEL0852-21-9004 FAX0852-31-2166

「建設共済」の他にも、次のような事業を行っています。

育英奨学事業

被災者(死亡および身体障害・傷病3級以上)の子供に対して、要保育期間および小学校から大学までの在学期間中、返済不要の奨学金を継続して給付。

詳しい情報、掛金試算などのお問い合わせは

Tel.03-3591-8451

<http://www.kyousaidan.or.jp/>